



第 43 回例会報告 (5月31日)

【 出 席 報 告 】

・ 会員数	54名	・ 出席数	32名	・ 欠席数	22名
・ 当日出席率	70.45%	・ 前々回修正出席率	100%		

< 欠席会員 > 藤田、檜垣(俊)、川上、小堀、松木、光藤、村上(裕)、越智(務)、重松、田中、竹田、矢野、吉田
 (免除会員) 青野、原田、門田、金森、松本、村上、白石、高木、八木
 <5/17 欠席補填> (5/7 今治北) 檜垣(直)、檜垣(俊)、川上、松木、尾越 (5/22 今治南) 原、檜垣(巧)、久米、越智(務)、大澤、田中、竹田 (5/15IAC) 藤田

大西ガバナー補佐挨拶・もう少しで1年の任期も終了です。各クラブに訪問し勉強する事がたくさんありました。伊予三島 RC も更に向上できるよう、今後の活動に活かしていきたいと思えます。皆様のご協力有難うございました。

会長報告・四国電力株式会社今治営業所長 鎌田義継氏、推薦者冠会員・佐伯会員、四国ガス株式会社代表取締役専務取締役執行役員 眞鍋次男氏、推薦者 檜垣(圭)会員・飯会員、株式会社損害保険ジャパン今治中央支社長 加賀覚氏、推薦者 檜垣(俊)会員・重松会員、ジブラルタ生命保険株式会社支部長 木村敏明氏の入会手続きが規定の段階を経て理事会で承認されました。異議のある方は7日以内に申し出て下さい。

幹事報告・6月28日(木)18:30より、今治国際ホテルB1階 バッカスにて最終夜間例会を開催。

親睦活動委員会・誕生日スピーチ・原竜也会員：40代の大台にのりました。入会以来9年間最年少会員でしたが平田会員の入会で最年少会員の役を終え、ほっとするとともにRC会員として更に責任を感じて活動していきます。久米操会員：入会当時は最年少から数えて2番目でしたが、ずいぶん後輩が増えました。次年度は78代今治RC会長として頑張りたいと思えます。吉武誠治会員：28年前「愛媛では農協と契約すれば蛇口からポンジュースが出てくる」という噂を東京で流しました。最近松山空港で『蛇口をひねればポンジュース』が実現しました。これは私の人生において大きな功績です。

会員卓話

平田勝豪会員：日本において心の病気が問題になり、G7参加国の中でも自殺率が一番高い国です。厚生労働省も精神医療の向上に努めています。当院(アキクリニック)でも年間4万人の患者さんを診察しています。私の専門は児童思春期の精神医療です。今治でも高校生の患者が増えてきています。原因としては、自我の目覚めの時期に学業・部活等で忙しすぎて自分自身について考える時間が持たず、心の中で葛藤を起こします。このような場合の患者は最悪の事態では自殺という手段を選びます。自殺をほのめかす思春期の患者は「なぜ自分の命なのに自分で断つのは悪い事なのでしょうかと尋ねます。人間はたった一人では生きていけません。命の半分は自分のものだとしても、もう半分は自分を産み育ててくれた両親や社会のもので、ですから、自分を育ててくれた人や社会に対して責任を果たさないままで、命を自身で断つことはしてはいけません。しかし、なぜ人は自殺してしまうのか？これは人が快より不快の気持ちが多く占めるようになる気分障害からです。気分障害は、現代の時間の経過や経済活動のスピードがあまりに早すぎる事に起因していると考えられています。また、気分障害を訴える患者を本当は躁鬱病なのにうつ病と誤診し抗うつ薬(躁鬱病には禁忌)を誤って投与しているケースもあります。これはWHOの「躁鬱の症状は初回受診時に躁状態であること」という基準から誤診している場合もあります。愛媛ではまだまだ心の病への認識が低いです。糖尿病や高血圧の薬は飲みたがりますが、脳に効く薬というのは敬遠されます。高校生の保護者にも投薬なしのカウンセリングのみで治療したいという希望も多く見られますが、発達障害の有無や心理検査を経ての投薬治療が最良です。心の病への誤解をなくし、心の病も身体の病も同じくらいかかりやすく、適切な治療で治るとい認識を持ってもらえるよう講演も多数開催しています。将来を担う若者をひきこもりや自殺で失わないようにしたいと考えています。

< ゲスト > RI第2670地区愛媛第一分区ガバナー補佐 大西直方(おおにし なおまさ)様

次回例会 (6月7日)

【 『小さな奉仕賞』の表彰 】

- < 会員誕生日祝 > 佐伯 和信氏 (6/13)
- < 配偶者誕生日祝 > 松本 篤氏 (6/8)
- < 結婚記念日祝 > 渡辺 易廣氏 (6/10)
- < 入会記念日祝 > 島田雄二郎氏 (6/9)

[笹]